# 貨物自動車運送事業法令試験実施結果 (令和5年3月)

中部運輸局

# 令和5年3月20日

	受験者数	合格者数	合格率
中部運輸局	23	22	95.7%

# 一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題 (令和5年3月20日)

# 申請者名(法人名)

# 受験者の氏名

### (注意事項)

- ※問題文末尾の括弧は、関係する法令等を指します。また、設問の文中には、法令の 条文をそのまま引用せずに、一部省略している場合があります。
- I.次の問題1から16の文章で正しいものに $\bigcirc$ を、誤っているものに $\times$ を( )内に記入しなさい。

# 問題1 (過積載の防止)

一般貨物自動車運送事業者は、過積載による運送を行うときは、 運転手その他の 従業員に対する適切な指導及び監督を講じなければならない。(貨物自動車運送事業 輸送安全規則)

( )

### 問題2 (点呼等)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の乗務を開始しようとする運転者に対し、対面(運行上やむを得ない場合は電話その他の方法)により点呼を行わなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

( )

### 問題3 (事業計画)

一般貨物自動車運送事業者が業務を行う場合には、事業計画に定めるところに従わなければならない。国土交通大臣は、この規定に違反していると認められるときは、 当該事業者に対し、事業計画に従い業務を行うべきことを命ずることができる。(貨物自動車運送事業法)

### 問題4 (運賃及び料金の届出)

一般貨物自動車運送事業者は運賃及び料金を定め又は変更したときは、運賃及び料金の設定又は変更後30日以内に、運賃料金設定(変更)届出書を所轄運輸局長あて提出しなければならない。(貨物自動車運送事業報告規則)

( )

### 問題5(運行管理者)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務を行わせるため、運転手のうち運転技能が優れていると認められる者から、運行管理者を選任しなければならない。(貨物自動車運送事業法)

( )

### 問題6 (過積載車両に係る措置命令)

警察官は、過積載をしている車両の運転者に対し、当該車両に係る積載が過積載とならないようにするため必要な応急の措置をとることを命ずることができる。(道路交通法)

( )

# 問題7 (名義の利用等の禁止)

一般貨物自動車運送事業者は、事業の貸渡しその他いかなる方法をもってするかを問わず一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を他人にその名において経営させてはならない。(貨物自動車運送事業法)

### 問題8 (過労運転の防止)

一般貨物自動車運送事業者は二月を超える期間を定めて使用する者を事業用自動車の運転者として選任してはならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

( )

### 問題9(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

自己の取引上の地位が相手方に優越していることを利用して、正常な商習慣に照らして不当に、継続して取引している相手方(新たに継続して取引しようとする相手方を含む。)に対して、自己のために金銭、役務その他の経済上の利益を提供させることは、不公正な取引方法となる。(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

( )

# 問題10 (書面の交付等)

親事業者は、下請事業者に対し製造委託等をした場合に義務付けられている書面の交付に代えて、政令で定めるところにより、当該下請事業者の承諾を得て、当該書面に記載すべき事項を電子情報処理組織を使用する方法その他の情報通信の技術を利用する方法であつて公正取引委員会規則で定めるものにより提供することができる。この場合において、当該親事業者は、当該書面を交付したものとみなす。 (下請代金支払遅延等防止法)

( )

### 問題11(定義)

貨物自動車運送事業法において「貨物自動車利用運送」とは、一般貨物自動車運送 事業又は特定貨物自動車運送事業を経営する者が他の一般貨物自動車運送事業又は 特定貨物自動車運送事業を経営する者の行う運送(自動車を使用して行う貨物の運送 に係るものに限る。)を利用してする貨物の運送をいう。(貨物自動車運送事業法)

### 問題12 (選任届)

大型自動車等を使用する事業者は、整備管理者を選任したときは、その日から15日 以内に、地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。(道路運送車両法)

( )

### 問題13 (事業の譲渡し及び譲受け等)

一般貨物自動車運送事業の譲渡し及び譲受けは、国土交通大臣の認可を受けなければ、その効力を生じない。(貨物自動車運送事業法)

( )

### 問題14 (輸送の安全)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の最大積載量を超える積載をすること となる運送の引受け、過積載を前提とする運行計画の作成及び事業用自動車の運転者 に対する過積載による運送を指示することができる。(貨物自動車運送事業法)

( )

# 問題15 (事業報告書及び事業実績報告書)

一般貨物自動車運送事業者は、毎事業年度に係る事業報告書を毎事業年度の経過後 150日以内に国土交通大臣又は所轄地方運輸局長に提出しなければならない。(貨物自動車運送事業報告規則)

( )

### 問題16(運行管理者)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務を行わせるため、運転者及び乗務員のうちから運行管理者を選任しなければならない。(貨物自動車運送事業法)

# Ⅱ. 次の問題17から23の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題17(貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、労働省告示(平成元年2月9日労働省告示第7号)によって定められています。次の中から正しいものを3つ選び記入しなさい。(自動車運転手の労働時間等の改善のための基準(平成元年2月9日労働省告示第7号))

- ア. 拘束時間は、1箇月について393時間超えないものとすること。
- イ. 1日についての拘束時間は、10時間を超えないものとし、当該拘束時間を延 長する場合であっても最大拘束時間は、12時間とすること。
- ウ. 勤務終了後、継続8時間以上の休息期間を与えること。
- エ. 運転時間は、2日を平均し1日当たり9時間、2週間を平均し1週間当たり44時間を超えないものとすること。
- オ. 連続運転時間は、4時間を超えないものとすること。

( ) ( ) ( )

### 問題18 (事故の記録)

事業用自動車に係る事故が発生した場合に作成する事故の記録について、貨物自動車運送事業輸送安全規則で定める記録すべき事項で正しい事項には○を、そうでない事項には×を( )内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

- ア. 事故発生当時の天候
- イ. 事故の発生日時
- ウ. 事故の発生場所

ア ( ) イ ( ) ウ ( )

### 問題19 (定義)

一般貨物自動車運送事業者が、届出しなければならない重大な事故として自動車事故報告規則に定められている事項について、正しい事項には〇を、そうでない事項には×を()内に記入しなさい。(自動車事故報告規則)

- ア. 自動車が転覆し、転落し、火災を起こし、又は踏切において鉄道車両と衝突し、 若しくは接触したもの
- イ. 死者又は重傷者を生じたもの
- ウ. 荷物がき損・破損したもの

ア ( ) イ ( ) ウ ( )

### 問題20 (定義)

貨物自動車運送事業の定義として正しいものを1つ選びなさい。(貨物自動車運送 事業法)

- ア. 他人の需要に応じ、有償で、自動車を使用して貨物を運送する事業
- イ. 自己の需要に応じ、有償で、自動車を使用して貨物を運送する事業
- ウ. 他人の需要に応じ、無償で、自動車を使用して貨物を運送する事業

( )

### 問題21 (過労運転の防止)

一般貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者として選任してはならない者を、 次の中から2つ選び( )に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

- ア. 日々雇い入れられる者
- イ. 6ヶ月間の期間を定めて使用される者
- ウ. 試みの使用期間中の者(14日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。)

( ) ( )

### 問題22 (届出)

一般貨物自動車運送事業者が国土交通大臣、地方運輸局長、運輸監理部長又は運輸 支局長に届け出なければならない場合として誤っているものを1つ選び( )内 に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則)

- ア. 資本金の額を変更した場合
- イ. 一般貨物自動車運送事業者が運輸を開始した場合
- ウ. 譲渡し及び譲受け又は法人の合併若しくは分割が終了した場合

( )

# 問題23 (変更登録)

次の文中の( )内にあてはまる語句をア〜ウから選び、( )内に記号で記入しなさい。(道路運送車両法)

自動車の所有者は、登録されている型式、車台番号、原動機の型式、所有者の氏名若しくは名称若しくは住所又は使用の本拠の位置に変更があったときは、その事由があった日から()以内に、国土交通大臣の行う変更登録の申請をしなければならない。

ア. 7日 イ. 15日 ウ. 30日

# 一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題 (解答) (令和5年3月20日)

# 申請者名(法人名)

# 受験者の氏名

### (注意事項)

- ※問題文末尾の括弧は、関係する法令等を指します。また、設問の文中には、法令の 条文をそのまま引用せずに、一部省略している場合があります。
- I.次の問題1から16の文章で正しいものに $\bigcirc$ を、誤っているものに $\times$ を( )内に記入しなさい。

### 問題1 (過積載の防止)

一般貨物自動車運送事業者は、過積載による運送を行うときは、 運転手その他の 従業員に対する適切な指導及び監督を講じなければならない。(貨物自動車運送事業 輸送安全規則第4条)

(正) 過積載による運送の防止について

( × )

### 問題2 (点呼等)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の乗務を開始しようとする運転者に対し、対面(運行上やむを得ない場合は電話その他の方法)により点呼を行わなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第7条第1項)

 $( \bigcirc )$ 

#### 問題3(事業計画)

一般貨物自動車運送事業者が業務を行う場合には、事業計画に定めるところに従わなければならない。国土交通大臣は、この規定に違反していると認められるときは、当該事業者に対し、事業計画に従い業務を行うべきことを命ずることができる。(貨物自動車運送事業法第8条第1項、第2項)

 $(\bigcirc)$ 

# 問題4 (運賃及び料金の届出)

一般貨物自動車運送事業者は運賃及び料金を定め又は変更したときは、運賃及び料金の設定又は変更後30日以内に、運賃料金設定(変更)届出書を所轄運輸局長あて提出しなければならない。(貨物自動車運送事業報告規則第2条の2)

 $(\bigcirc)$ 

# 問題5(運行管理者)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務を行わせるため、運転手のうち運転技能が優れていると認められる者から、運行管理者を選任しなければならない。(貨物自動車運送事業法第18条第1項)

(正) 運行管理者資格者証の交付を受けている者のうちから

( × )

### 問題6 (過積載車両に係る措置命令)

警察官は、過積載をしている車両の運転者に対し、当該車両に係る積載が過積載とならないようにするため必要な応急の措置をとることを命ずることができる。(道路交通法第58条の3)

 $(\bigcirc)$ 

### 問題7 (名義の利用等の禁止)

一般貨物自動車運送事業者は、事業の貸渡しその他いかなる方法をもってするかを問わず一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を他人にその名において経営させてはならない。(貨物自動車運送事業法第27条第2項)

 $(\bigcirc)$ 

### 問題8 (過労運転の防止)

一般貨物自動車運送事業者は二月を超える期間を定めて使用する者を事業用自動車の運転者として選任してはならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第3条第2項)

(正) 二月以内の期間を定めて使用される者

( × )

# 問題9 (私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

自己の取引上の地位が相手方に優越していることを利用して、正常な商習慣に照らして不当に、継続して取引している相手方(新たに継続して取引しようとする相手方を含む。)に対して、自己のために金銭、役務その他の経済上の利益を提供させることは、不公正な取引方法となる。(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律第2条第9項)

 $(\bigcirc)$ 

### 問題10 (書面の交付等)

親事業者は、下請事業者に対し製造委託等をした場合に義務付けられている書面の交付に代えて、政令で定めるところにより、当該下請事業者の承諾を得て、当該書面に記載すべき事項を電子情報処理組織を使用する方法その他の情報通信の技術を利用する方法であつて公正取引委員会規則で定めるものにより提供することができる。この場合において、当該親事業者は、当該書面を交付したものとみなす。 (下請代金支払遅延等防止法第3条第2項)

 $(\bigcirc)$ 

# 問題11 (定義)

貨物自動車運送事業法において「貨物自動車利用運送」とは、一般貨物自動車運送 事業又は特定貨物自動車運送事業を経営する者が他の一般貨物自動車運送事業又は 特定貨物自動車運送事業を経営する者の行う運送(自動車を使用して行う貨物の運送 に係るものに限る。)を利用してする貨物の運送をいう。(貨物自動車運送事業法第2 条第7項)

### 問題12 (選任届)

大型自動車等を使用する事業者は、整備管理者を選任したときは、その日から15日 以内に、地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。(道路運送車両法第52 条)

 $(\bigcirc)$ 

# 問題13 (事業の譲渡し及び譲受け等)

一般貨物自動車運送事業の譲渡し及び譲受けは、国土交通大臣の認可を受けなければ、その効力を生じない。(貨物自動車運送事業法第30条第1項)

### 問題14 (輸送の安全)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の最大積載量を超える積載をすることとなる運送の引受け、過積載を前提とする運行計画の作成及び事業用自動車の運転者に対する過積載による運送を指示することができる。(貨物自動車運送事業法第17条第2項)

(正) 指示をしてはならない

( × )

#### 問題15 (事業報告書及び事業実績報告書)

一般貨物自動車運送事業者は、毎事業年度に係る事業報告書を毎事業年度の経過後 150日以内に国土交通大臣又は所轄地方運輸局長に提出しなければならない。(貨物自動車運送事業報告規則第2条第1項)

(正) 100日以内

 $(\times)$ 

#### 問題16(運行管理者)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務を行わせるため、運転者及び乗務員のうちから運行管理者を選任しなければならない。(貨物自動車運送事業法第18条第1項)

(正) 運行管理者資格者証の交付を受けている者のうちから

( × )

# Ⅱ. 次の問題17から23の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題17(貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、労働省告示(平成元年2月9日労働省告示第7号)によって定められています。次の中から正しいものを3つ選び記入しなさい。(自動車運転手の労働時間等の改善のための基準(平成元年2月9日労働省告示第7号)第4条第1項)

- ア. 拘束時間は、1箇月について393時間超えないものとすること。
- イ. 1日についての拘束時間は、10時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、12時間とすること。
- ウ. 勤務終了後、継続8時間以上の休息期間を与えること。
- エ. 運転時間は、2日を平均し1日当たり9時間、2週間を平均し1週間当たり44時間を超えないものとすること。
- オ. 連続運転時間は、4時間を超えないものとすること。
- ア. 293時間 イ. 13時間・16時間 ウ. 〇 エ. 〇 オ. 〇

(ウ) (エ) (オ)

### 問題18 (事故の記録)

事業用自動車に係る事故が発生した場合に作成する事故の記録について、貨物自動車運送事業輸送安全規則で定める記録すべき事項で正しい事項には○を、そうでない事項には×を()内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第9条の2)

- ア. 事故発生当時の天候
- イ. 事故の発生日時
- ウ. 事故の発生場所

 $r(\times) \land (\bigcirc) \land (\bigcirc)$ 

### 問題19 (定義)

一般貨物自動車運送事業者が、届出しなければならない重大な事故として自動車事故報告規則に定められている事項について、正しい事項には〇を、そうでない事項には×を()内に記入しなさい。(自動車事故報告規則第2条)

- ア. 自動車が転覆し、転落し、火災を起こし、又は踏切において鉄道車両と衝突し、 若しくは接触したもの
- イ. 死者又は重傷者を生じたもの
- ウ. 荷物がき損・破損したもの

ア( ○ ) イ( ○ ) ウ( × )

### 問題20 (定義)

貨物自動車運送事業の定義として正しいものを1つ選びなさい。(貨物自動車運送 事業法第2条第2項)

- ア. 他人の需要に応じ、有償で、自動車を使用して貨物を運送する事業
- イ. 自己の需要に応じ、有償で、自動車を使用して貨物を運送する事業
- ウ. 他人の需要に応じ、無償で、自動車を使用して貨物を運送する事業
- (正) ア. イ. 他人の需要に応じ ウ. 有償で

(ア)

### 問題21 (過労運転の防止)

一般貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者として選任してはならない者を、 次の中から2つ選び( )に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第 3条第2項)

- ア. 日々雇い入れられる者
- イ. 6ヶ月間の期間を定めて使用される者
- ウ. 試みの使用期間中の者(14日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。)

 $\mathcal{F}$ .  $\bigcirc$ 

イ. 二月以内の期間を定めて使用される者

ウ. 〇

(ア)(ウ)

### 問題22 (届出)

一般貨物自動車運送事業者が国土交通大臣、地方運輸局長、運輸監理部長又は運輸支局長に届け出なければならない場合として誤っているものを1つ選び( )内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則第44条第1項)

- ア. 資本金の額を変更した場合
- イ. 一般貨物自動車運送事業者が運輸を開始した場合
- ウ. 譲渡し及び譲受け又は法人の合併若しくは分割が終了した場合

(ア)

# 問題23 (変更登録)

次の文中の( )内にあてはまる語句をア〜ウから選び、( )内に記号で記入しなさい。(道路運送車両法第12条第1項)

自動車の所有者は、登録されている型式、車台番号、原動機の型式、所有者の氏名若しくは名称若しくは住所又は使用の本拠の位置に変更があったときは、その事由があった日から( イ )以内に、国土交通大臣の行う変更登録の申請をしなければならない。

ア. 7日 イ. 15日 ウ. 30日